



清 泉

令和8年2月26日
昭島市立清泉中学校
校長 佐藤 晴美

昭島市立清泉中学校 〒196-0024 昭島市宮沢町1-9-1
電話042-541-0762 FAX042-541-6869 <http://www.city.akishima.ed.jp/~seisen/>

自らの考えを生かす「学び」の創造～豊かに、たくましく そして 創造的に～

今回のタイトルは、本校が昭島市教育委員会研究指定校として2か年（令和6・7年度）にわたり掲げてきた研究主題です。「変化が激しい不確実な社会の中で、学びを通じて自分の人生を舵取りし、社会の中で多様な他者とともに生きる力」が求められています。以前にもお話したかもしれませんが、私は「変化が激しい不確実な社会」とは「時代を変えていくことができる、可能性に満ち溢れた社会」と捉えています。

そのような時代、子どもだけではなく大人も『『従来どおり』に疑問をもち、自分の考えや思い』から問いを発すること、問いに対して「どのような方法で」、「今までの経験（既習事項）の何を生かすか」、そして、他者との対話も重視しながら創り上げる。「何のために」をエネルギーとして「何事にも『楽しむ』」、そして「失敗したら再チャレンジできる」を意識し研究してきました。しかし、このことは過去形ではなく、進行していくものです。進行形（OOing）が『Being』となるように……。

現在、大人は社会の担い手です。そして生徒たちは「次代の担い手」となります。その生徒たちはいろいろなことを考え、行動化しています。3年生は「SDGs（持続可能な開発目標）から考える2050年の未来」がどうなっているか予測しました。『現状の延長線上に2050年はある』ということ意識しつつ、生徒たちは自分の生き方に迫りました。



SDGsの項目「16」は何か、みなさんご存じですか？「16」は「平和と公正をすべての人に」です。1年生と2年生は冬休みにこのことについて調査したり考えたりしました。そして今の自分にできることを実践しました。ある1年生が絵を描いてきました。この絵からみなさんはどのようなことを感じますか。私はぎゅっと握りあう2つの手の強さと優しさを感じたのです。その他の実践には「同じものならばフェアトレードの商品を選んだ」「インターネット上の言葉遣いを考えた」「何か考える際に、別の見方がないか考えた」「兄弟げんかるとき、暴力で解決せず言葉で解決した」「なぜ戦争が起きるのか、戦争が起こるとどのようなことになるかなど本を読んで、その内容を家族に伝えた」「人権について家族と話し合った」など、その他多くの内容がありました。



2年生は自分のテーマを基に訪問先を決定し、東京都内で探究学習を行いました。その学びに今年はある活動が追加されました。それは海外から日本に来られた方々との交流です。「完璧な英語じゃなくてもいい。相手の目を見て、自分の言葉で、真心を込めて気持ちを伝える」というものでした。そして、お礼として折り鶴を渡しました。今、その折り鶴は、2年生の平和（友好）への思いとともに世界で羽ばたいています。



新たなアイデアが生徒から提案された『お弁当の日』3月9日（月）

給食委員会から直接企画が提案されました！

- (1) お弁当を食べる場所を教室だけではなく、校庭など可能な場所に拡大したい。
- (2) これまで同じクラスの仲間とだけで食べていたが「お弁当の日」は学級・学年などを越えて交流を図りたい。
- (3) 体育委員会に依頼して、昼食後に全校レクができないか検討したい。

生徒たちの発想はとても豊かで、そして、
仲間のことを思い合う、
とてもあったかいものです

《保護者の方へのお願い》

清泉中は、第3回「お弁当の日」を「生徒自身がお弁当を作る日」にします。これまで「お弁当の日」に限らず行事や部活動など、普段からお家の方にお弁当を作ってもらっていることが多かったと思います。生徒たちはそのお弁当を嬉しそうに食べております。それとてもいいのですが、今年度最後の「お弁当の日」は、ご家族の方々への感謝の気持ちを持ち、自分の食生活を考える日としたいのです。ご家庭にご心配をおかけするかもしれませんが、ご理解とご協力をお願いします。